

住ま

*…長いキッチンカウンター

最近は通常のキッチンセツトではなく、家具のような長い流し台を作るケースが出てきた。4帖もあるキッチンのカウンターは、食器洗いや調理台としてだけではなく、配膳台も兼ねている。そして、部屋を彩る観葉植物などを置く飾り台としての要素も持つようになった。あちらこちらに点在しがちな部屋の小物も一面に集約され、統一感のあるインテリアを作り出す。

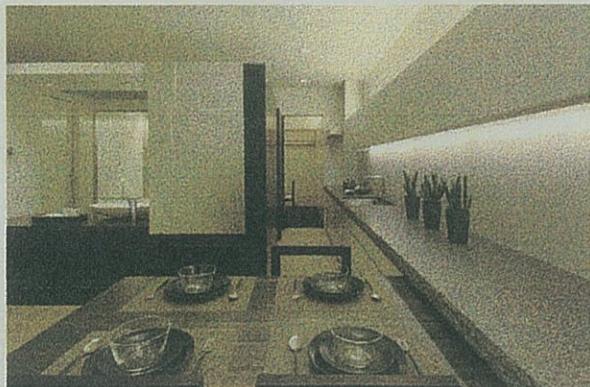
オープンキッチンの場合、どうしても日常の生活感があふれてしまいがちだが、その解決策として、あえてキッチンカウンターを長くする。それによつ

Let's リフォーム

西田恭子

て、出したくない生活臭が薄められる。問題は、オーダー感覚のキッチンセツトは金額も張り、思った以上に予算オーバーするものだということだ。

だが、ある調査によると「予算をオーバーした人のほうが、リフォーム費用を削った人より満足度が高い」という結果が出た。こんな予想外のデータに驚きながらも、うなづくことができる。なぜなら、リフォームが、それほどまでに新たな生活を作り出す力があり、本人が期待した以上の



LDKは、キッチンカウンターを中心レイアウトが決まっている

「価格」より「納得」を求めるからだ

ショールームに行くと、ついつい価格の高い方へ目が向く。だが、ワンランク上の設備で充実しても、好みのキッチンになることはいえない。同

じ予算オーバーでも、設備機器に費用を割くのか。部屋のインテリアとして作り上げることに割くのか。写真は、東京ミッドタウンにある三井ホームリモーディングのモデルルームのキッチンである。訪れる人は、長いカウンターを見て「いいですね！」この下全部が収納なんですね」と作業のしやすさだけでなく、収納量の多さにも感嘆する。

多目的に使え、生活臭が薄められる

(三井のリフォーム) 住生活研究所所長、1級建築士